

令和7年度 第2回 宗谷管内学力保障会議

目的 宗谷管内の児童生徒の学力保障に向けて、市町村教育委員会、学校、教育局等が一体となって取り組むための目標や方策等について協議を行い、学力保障の取組の充実を図る。

開催日 令和7年8月28日(木) 13:30~15:30 方法 Web会議システム(ZOOM)

参加者 宗谷管内市町村教育委員会教育長、稚内市校長会、宗谷公立学校教頭会、稚内市公立学校教頭会、E B E協議会指定地域校、宗谷教育局

【挨拶】

宗谷教育局長 笠井 浩

- ・本会議は、管内の子どもたちの学力保障に向けて、市町村教育委員会、学校、行政等が一体となった取組の改善・充実を図ることを目的としている。
- ・各種調査を活用した検証改善サイクルの充実や望ましい学習習慣や生活習慣の確立など、学力保障に向けた取組の一層の充実を図っていただきたい。

【説明】

宗谷教育局教育支援課長 山寺 潤

- 管内の児童生徒の学力の状況について
 - ・令和7年度全国学力・学習状況調査について
 - ・「令和7年度(2025年度)版 宗谷管内学力保障プラン3つの柱」の中間評価について
 - ・管内における学力保障の取組の成果と課題について

協議1

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果及びSサポートの分析結果を踏まえた今後の取組について

- ・授業改革の取組やICTの活用による子どもを主語にした授業への転換は進んできたが、学習内容の定着や各種調査結果に結び付いていない。
- ・全国学力・学習状況調査の結果分析から、問題を読み取る力や自分の考えを記述する力に課題が見られる。
- ・昨年度、全国学力・学習状況調査から明らかとなった課題の解決を図る授業改善を学校全体で組織的に行った結果、今年度の学力調査では、課題のあった領域について改善が見られた。

協議2

中間評価について

- ・全国学力・学習状況調査の結果から明らかとなった課題を踏まえ、学校全体で課題解決に向けた授業改革に取り組むことが大切である。
- ・管内教育推進の重点には、学校、教育委員会、教育局がそれぞれの立場で取り組む重点事項が明確に示されていることから、学校と共通理解を図り、取組を進めて行くことが大切である。
- ・子どもたちの指導に生かせるよう、宗谷教育研修センターでは、教員を対象に情報活用能力の育成等について研修を行っている。

協議3

学力保障に向けた組織的な取組について

- ・コミュニティ・スクールの活用により地域の教育力を生かすなど、市町村全体で学力保障の取組を進める必要がある。
- ・全教職員が、子どもの学習状況を見取り、適切な支援ができるよう、研修等の充実を図り、これまで以上に組織的な学力保障の取組としていく必要がある。
- ・先生方のニーズに応じた研修を行うことにより、授業観・学習観の転換を図っていきたい。

【まとめ～各種調査の分析結果に基づいた、児童生徒の課題を解決する授業改革を！！～】

義務教育指導監 千代 隆 志

中間評価の結果から、児童生徒4～5人に1人が「授業がよく分からない」と回答をしていることについて、重く受け止める必要がある。

各学校で行っている分析結果に基づき、自校の課題を解決する授業となっているかという視点で、授業改革の取組を短いスパンで検証し、改善を図るとともに、学習指導要領が示す資質・能力の確実な定着を図る授業となっているか検証する必要がある。子どもたちが、「そうか!」「わかった!」「そういうことか」など、授業の中で思わずつぶやくような授業を目指していただきたい。

担当者から

宗谷教育局では、宗谷管内の子どもたちの学力保障に向け、各学校の取組をサポートします。管内の児童生徒の学力や学習指導上の課題を踏まえた授業改革をテーマとして、「授業改革推進会議」「英語教育接続推進会議」「授業改革研修～SOYA ALL～」を実施します。また、今月は令和7年度教育課程改善協議会が開催されています。いずれも、参加される皆様方には、会議等の内容についてそれぞれの市町村や校内等で普及していただくよう、お願いします。(学校教育指導班主査 松嶋 涼子)